

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100948
事業所名	グループホーム フレンズハウス七反野

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、運営推進会議や回覧板などで情報を得て、地域の盆踊りや秋祭り、親子運動会などの行事に参加している。管理者は毎月開催される町内会の定例会に役員として参加をしている。子ども神輿が訪れ賑わいを見せたり、時折、近状の方が訪れ入居者と一緒に語らいながら草取りをしている。子ども110番を請け負い防犯の担い手となっている。近隣の保育園児がハロウィーンに訪れたり、大正琴、銭太鼓やオカリナ演奏など地域ボランティアの訪問もある。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 町内会長や民生委員、包括支援センター職員等の参加を得て、2か月に1回開催している。事業所の運営や行事、近況報告などを行い、地域情報や防災などの情報を得たり、課題や問題点などについて意見交換を行っている。出された意見はその場で話し合ったり、カンファレンスで検討しサービスの向上に活かすように努めている。家族の訪問時に会議内容を伝えたり、誰でも閲覧できるように議事録を開示している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 更新代行手続きや書類提出の際に、入居者の情報を伝えたりアドバイス、指導を受けている。高齢福祉課や生活保護課双方の窓口担当者から情報を得られるので、こまめに訪問し協力関係を築いている。年に1回介護相談員の施設訪問がある。介護フェアや区民祭り、いきいき祭りなどに参加したり、港区介護保険事業者連絡会主催の研修等には積極的に出席をしている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々のケアの中から、家族からは面会時やこまめに情報提供や連絡を行い意見や要望を聞くようにして、得た情報は記録に残し、申し送り等で周知ケアに繋げている。また、家族向けにアンケートを行いケアに活かすように努めている。入居者担当による個別のコメントを記載したホーム便りを年6回配付し、家族の安心を得ている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎